

CONTENTS

ごあいさつ…………… 1
 活動TOPICS…………… 2
 活動報告…………… 4
 地域便り…………… 5
 日常生活の省エネ… 6
 お知らせ…………… 7
 役員名簿・編集後記… 8

21世紀の エネルギーを 考える会・みえ



会長 小菅 弘正

ご
あ
い
さ
つ

平素より会員の皆さま方には、当会の事業や活動にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、3月11日に発生した東北関東大震災は未曾有の大災害となり、東北・関東地方に重大な被害をもたらしました。被災された多くの皆さま方に、心からお見舞い申し上げます。

とりわけ、東京電力福島第一原子力発電所では、地震と大津

波によって、原子炉は停止したものの、原子炉を「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」という安全面における重要な機能を喪失して深刻な状況となっしまい、被災地の方々だけではなく国民に大きな不安と衝撃を与えてしまいました。

原子力発電は発電時にCO₂を排出せず、低炭素社会を実現するうえで有効なエネルギーではありますが、その推進にあたっては、そもそも、安全が確保されていることが大前提であったはずです。

まずは、国および電力会社が、福島第一原子力発電所の事態の一日も早い収束に向けて全力を傾けること、さらに、今回のような重大な事故を二度と起こさぬよう抜本的に安全対策を見直し、「国民が安心できる原子力

発電所」を実現させることを強く要望するものです。

また、関東地方では、電力の供給力不足のため計画停電が実施され、生活や産業に大きな影響を与えています。持続可能な社会を構築していくためには、低炭素で良質なエネルギーの安定的供給が不可欠であります。エネルギー自給率の低いわが国がいかにしてエネルギーの安定供給を図るのか、また、そのために私たちはどう行動すれば良いのかについて、国民的な議論を深めていくことが重要であると考えます。

当会では、今後も、低炭素社会実現に向けた啓発・提言活動に取り組んでまいります。

引き続き、皆さま方のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

21世紀のエネルギーを考える会・みえは、当会の活動を知っていただくとともに、県民の皆さまに、低炭素社会の重要性を訴えたり、省エネ生活の実践を呼びかけたりして、環境問題やエネルギー問題に関心を持っていただくことをねらいとした、シンポジウムや地区別講演会を県内各地で開催しました。概要をご紹介します。

公開シンポジウム

公開シンポジウムは、「エネルギー・環境のこと一緒に考えてみませんか？」～低炭素社会の実現と持続可能な三重～をテーマに、2地区で開催しました。

■四日市地区：平成23年2月18日(金)四日市商工会議所

基調講演

講師 新田義孝氏 四日市大学環境情報学部教授

パネルディスカッション

コーディネーター

新田義孝氏 四日市大学環境情報学部教授

パネリスト

- ・天野明氏 経済産業省中部経済産業局資源エネルギー環境部電力事業課長
- ・市田淳一氏 株式会社東海テクノ代表取締役社長
- ・中岡章氏 弘前大学特任研究員・工学博士
- ・藤岡和美氏 NPO法人市民風車夢の風理事長

■津地区：平成23年3月7日(月)プラザ洞津

基調講演

講師 新田義孝氏 四日市大学環境情報学部教授

パネルディスカッション

コーディネーター

新田義孝氏 四日市大学環境情報学部教授

パネリスト

- ・天野明氏 経済産業省中部経済産業局資源エネルギー環境部電力事業課長
- ・朝日幸代氏 三重大学人文学部法律経済学科教授
- ・森井英行氏 井村屋株式会社執行役員



■新田氏の基調講演（四日市商工会議所で）

四日市地区のシンポジウムでは、まず基調講演として、新田義孝氏に「エネルギー・環境問題の現状と低炭素社会の実現について」と題した基調講演をしていただきました。後半は新田氏をコーディネーターとして、天野明氏、市田淳一氏、中岡章氏、藤岡和美氏の4人をパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。天野氏は行政の立場から「グリーンイノベーションや電源立地地域振興の推進を図りたい」とし、市田氏は企業経営者の立場から「産業部門ではCO₂削減の取り組みの成果が出てきているが、大幅な削減のためには日本に有利な資源を活かせるような施策を国や地域がリードする必要がある」と語りました。



■パネルディスカッションの様子（四日市商工会議所で）

中岡氏は、「世界の低炭素化を進めるために、日本が持っている高い水準の技術を売っていくのも重要」だとしました。藤岡氏は、「新エネルギーは非効率でも必要な電源であり、ベストミックスを目指してほしい」と話しました。これらを受けて新田氏は、「さまざまな分野の人が協力して、夢を共有することで、低炭素社会の形成につながっていく」とまとめました。

津地区のシンポジウムでは、同じく新田氏に基調講演をしていただき、その後のパネルディスカッションでは、天野氏と朝日幸代氏、森井英行氏がパネリストとして参加し、意見交換が行われました。

地区別講演会

地区別講演会は県内の4地区で開催しました。



■地区別講演会の会場の様子

■伊賀地区

平成22年9月27日(月) 上野フレックスホテル
「エネルギー・環境の現状と低炭素社会について」

講師:新田義孝氏 四日市大学環境情報学部教授

■桑名地区

平成23年1月13日(木) 桑名市民会館
「エネルギー・環境のこと一緒に考えてみませんか？」
～しなやかにいまを生きる～



講師:神津カナナ氏 作家・総合資源エネルギー調査会原子力部委員

■松阪地区

平成23年1月25日(火) 松阪商工会議所
「エネルギー・環境のこと一緒に考えてみませんか？」
～エネルギー・環境問題の現状と低炭素社会について～

講師:新田義孝氏 四日市大学環境情報学部教授

■伊勢地区

平成23年2月23日(水) 伊勢商工会議所
「エネルギー・環境のこと一緒に考えてみませんか？」
講師:東嶋和子氏 科学ジャーナリスト・筑波大学非常勤講師



各会場とも、それぞれの講師の方がユニークでわかりやすいお話をしていただきました。いずれの講演会でも、環境問題・エネルギー問題を考えるとき、地球温暖化防止およびエネルギー資源の価格高騰に備えて、化石燃料依存の現状から脱却するとともに、CO₂を排出しない再生可能エネルギーや安全・安心を前提とした原子力発電の必要性が高まっていることを話されました。また、一人ひとりが環境・エネルギー問題を自分のこととして認識し、できることから実践していくことが大事だと述べられていました。

活動報告・地域便り

第2回役員視察会

平成22年12月2日(木)・3日(金)、
当会役員が浜岡原子力発電所を視察しました。

初日は、浜岡原子力発電所を視察した後、御前崎市商工会との意見交換会を行いました。浜岡原子力発電所では、実際の発電所の現場を見学し、原子力発電の仕組みなどの説明を受けることによって、エネルギー資源の乏しい日本の現状にとって、また、低炭素社会の実現にとって、原子力発電がいかに有用であるかを再認識しました。意見交換会では、エネルギー政策について、両方の立場から意見を述べ、エネルギーを確保することの重要性などを確認しました。

2日目は、午前中に静岡県温水利用研修センターを視察後、御前崎風力発電所を移動中の車中から見学しました。午後からは、中部電力静岡支店および静岡県との懇談会(意見交換会)を行いました。

他県の情報を現地で実際に知ることにより、今後、三重県内および当会の活動にどのように生かせるか、大変参考になった2日間となりました。



■浜岡原子力発電所内の原子力研修センターで説明を聞く参加役員

第4回役員懇話会

平成23年2月8日(火)、
当会役員がホテルグリーンパーク津においてエネルギー問題に関する講演を聴講しました。

小菅会長の挨拶の後、経済産業省中部経済産業局資源エネルギー環境部電源開発調整官の板垣秀男氏を講師に迎え、「我が国のエネルギー政策」についての講演を聞きました。

■板垣氏に質問する参加役員



共催事業

平成22年度省資源・省エネルギー大会開催

平成23年2月25日(金)、津市ポルタ久居3階の市民ふれあいセンターにおいて、「平成22年度省資源・省エネルギー大会」が開催されました。この大会は、三重県新生活運動推進協議会(伊藤幸子会長)の主催で、毎年2月の省エネルギー月間に合わせて実施しているもので、環境・エネルギー問題を考えるという趣旨に賛同し、当会も毎年共催しています。今回は「未来につなげようエコな暮らし」をテーマに、講演やパネルディスカッションが行われました。

午前は、科学ジャーナリストの東嶋和子氏が「エネルギー・環境問題のこと一緒に考えてみませんか？」



■パネルディスカッションの様子

と題して、日本の技術力を生かしたエネルギー政策の提案を話しました。午後は、伊藤会長の司会により、NPO法人市民風車夢の風・藤岡和美氏、三重県新生活運動推進協議会顧問・佐脇芳子氏、当会の服部事務局長が参加し、「新エネルギーの安全性」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

また、会場内にはリフォーム作品が展示され、リサイクルバザーも行われました。

平成22年度四日市商工会議所 優良勤労者表彰式に共催

平成22年11月29日(月)、四日市商工会議所で平成22年度四日市商工会議所優良勤労者表彰式が行われました。

会場には約300名が参加し、記念講演として、スポーツジャーナリストの二宮清純氏が「勝者の思考法」と題して講演を行いました。同講演には当会も共催し、当日は服部事務局長が挨拶し、会員の方々へ当会のPRを行いました。

地域便り

伊勢市

「伊勢市環境基本計画」を
昨年3月に制定
天ぷら油の回収も進む



■天ぷら油を回収している資源ごみステーション

伊勢市は、平成22年3月に「伊勢市環境基本計画」を策定し、伊勢市の環境のめざす姿として“環境文化の生きるまち 伊勢”としています。伊勢市は、日本人のふるさと「伊勢神宮」とともに、豊かな自然の恵みを享受してきた歴史があります。

悠久の歴史を持続可能なものにするには、地域環境への配慮は欠かせません。市では、「地球温暖化防止の推進」「新エネルギー導入の推進」「3Rの推進」などを積極的に進めています。中でも「資源、エネ

ルギーの循環利用」として、天ぷら油のバイオディーゼル燃料としての再利用に着目し、資源ごみ回収ステーションや公民館、コミュニティセンターなどの公共施設を含む市内全域による回収を行っています。また、生ごみや草木類、紙類などメタン発酵が可能な燃えるごみのバイオガス化による資源化も検討しています。

平成25年には第62回神宮式年遷宮が行われます。20年に一度、社殿や御装束神宝などを新調する遷宮は、使わなくなった古材を他の神社の鳥居や柱に再利用するなど、ムダなく活用されます。自然環境を守り、自然と人とが共生する「循環型社会のまち」の象徴ともいえるでしょう。

ご当地グルメ紹介 「伊勢うどん」

ずんぐりと太い麺に、真っ黒い濃厚なタレをかけて食べる伊勢うどん。今でこそ名の知れた郷土料

理として食されていますが、以前は「宮川から五十鈴川まで」と言われ、2つの川に挟まれた地域でしか味わえない、神宮のお膝元である独特のうどんだったようです。

昔は単に「素うどん」と呼ばれ、



郷土料理の伊勢うどん

江戸時代以前から地元の人が、うどんに味噌から出来た「たまり」をかけて食べていたのが始まりで、その後、いりこや鰹節でとっただし汁を加え食べやすくしたものとなり、お伊勢参りの参拝客も好んで食べたといわれています。

市内には「伊勢うどん」と書かれた店があらこちらにあります。価格も1杯500円前後なので、伊勢に行った際には、さまざまな店の味を食べ比べてみてはいかがでしょうか。

日常生活の省エネ

テレビの上手な使い方・選び方

使い方

ほとんどの方が毎日見ているテレビ。複数台お持ちの家も多いのではないのでしょうか。利用時間が長いからこそ、省エネ効果も表れます。

節約①

1日1時間、見る時間を減らしてみると…

テレビの種類		電気	電気料金
液晶テレビ(20インチ)の場合	年間	約15kWhの節約	約 330円 の節約
プラズマテレビ(32インチ)の場合		約75kWhの節約	約 1,640円 の節約
ブラウン管テレビ(25インチ)の場合		約32kWhの節約	約 700円 の節約

節約②

画面を明るくしすぎない、音量を上げすぎないようにしましょう

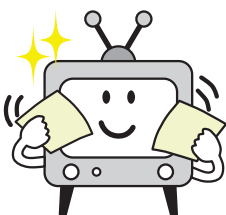
画面の輝度を最適(最大→中央)に調節した場合
年間で電気約30kWh、電気料金約 660円 の節約
音量を最適(最大→中央)に調節した場合
年間で電気約2kWh、電気料金約 50円 の節約

※ブラウン管テレビ25インチの場合



節約③

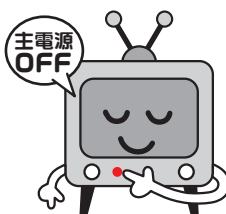
画面はこまめに掃除しましょう



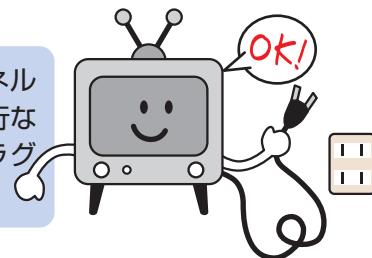
テレビの画面は静電気でホコリがつきやすいので、画面が暗く見えることも。**週に1度**くらいは拭き掃除をしましょう。

節約④

夜間や留守など長時間消すときは、主電源をOFFにしましょう



リモコン待ち状態でもエネルギーを消費しています。旅行など**長期不在**のときは、プラグを抜きましょう。



選び方

アナログテレビ放送がいよいよ平成23年7月24日に終了します。これを機にテレビの買い替えをお考えの方は、省エネ効率の高いものを選びましょう。



①画面の大きさ

画面が極端に大きすぎると、圧迫感があり目が疲れやすくなることも。液晶・プラズマテレビの場合、画面の高さの3～4倍が最適といわれています。

②年間消費電力

一般的にテレビサイズが大きくなるほど、また複数の機能を備えるほど、年間消費電力量は大きくなります。

③省エネ基準達成率の高い商品を選びましょう

(出典)「家庭の省エネ大事典」((財) 省エネルギーセンター)

お知らせ

平成23年度総会のお知らせ

日時：平成23年6月9日（木） 13:00～15:45（予定）

会場：アスト津4階 アストホール（津市羽所町700 TEL:059-222-2525）

■記念講演会（14:00～15:45）

講師：佐藤行雄氏（財団法人 日本国際問題研究所 副会長）



当会の活動をより多くの県民の皆さま方に知っていただくため、昨年8月からレディオキューブFM三重で当会の商業放送を開始しました。当会の活動理念である「低炭素社会の実現」の重要性を説明したり、当会行事の案内を行ったりしています。ぜひお聴きになってください。

放送時間 ▶

月曜日
8:25～ 8:27

木曜日
17:48～17:50

土・日曜日
毎月5回放送

会員の募集

当会では、会員の募集を行っています。
21世紀におけるエネルギー・環境問題を共に考え、行動する人の「輪」を広げています。
当会にご関心をお持ちの未入会の企業、団体、一般の方に一声お掛けいただきますよう、お願いいたします。

平成23年度地区別講演会・公開シンポジウムの開催

当会では平成23年度も、三重県内において地区別講演会および公開シンポジウムの開催を予定しています。

日程・内容等の詳細は、当会ホームページに随時掲載いたしますのでご確認願います。または事務局までお問い合わせ願います。

お近くでの開催の際には、ぜひご来場願います。

ホームページはこちら → <http://www.e-mie21.com>

役員名簿・編集後記

21世紀のエネルギーを考える会・みえ 役員等一覧

平成23年1月1日現在

<p>■会 長 小菅 弘正 四日市商工会議所顧問</p> <p>■副会長 竹林 武一 三重県商工会議所連合会会長 藤田 正美 三重県商工会連合会会長 佐久間裕之 三重県中小企業団体中央会会長 奥田 卓廣 三重県経営者協会会長 藤原 義治 三重県友愛連絡会議長 吉田 文雄 エネルギー問題三重県研究会代表世話人</p> <p>■理 事 齋藤 彰一 三重県商工会議所連合会副会長 上島 憲 同上 中井 均 同上 山本 忠之 同上 西村 憲一 同上 川口 佳秀 同上 伊藤 惠智 三重県商工会連合会副会長 篠木 幸一 同上 川合 文郎 同上 西尾 雄三 同上 大内 丈夫 同上 竹尾 博光 三重県中小企業団体中央会副会長 三林 憲忠 同上 向井 弘光 同上 黄瀬 稔 同上 菊川 靖之 三重県経営者協会副会長 澤田 隆 同上 佐藤 浩司 同上 小林 長久 同上 高崎 征輝 同上 黒川 正機 同上 浅野 啓介 電機連合三重地方協議会副議長</p>	<p>荒川 透 自動車総連三重地方協議会議長 木村 敬明 UIゼンセン同盟三重県支部運営評議会副議長 平野 清彦 JEC連合三重地方連絡会副議長 齋藤 典史 日産労連三重地方協議会議長 宮崎三代橋 交通労連中部地方総支部三重県支部支部長 井坂 紀之 基幹労連三重県本部事務局長 林 竜二 電力総連三重県電力総連会長 橋爪 政吉 日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会会長 大川 妙子 三重県地域婦人連絡協議会会長 伊藤 幸子 三重県新生活運動推進協議会会長 加藤 正彦 三重県医師会会長 山下 晃 社団法人三重県建設業協会会長 瀬河 英雄 社団法人三重県建築士会会長 鯉江 盈 三重県商店街振興組合連合会理事長 渡邊 一雄 三重県電器商業組合理事長 楠 修次 三重県電気工業工業組合理事長 伊藤 達雄 都市環境ゼミナル会長</p> <p>■監 事 長田 幸夫 三重県商工会議所連合会理事 堀 博敏 三重県一般労働組合同盟書記長</p> <p>■理事・事務総長 奈須 庄平 四日市商工会議所専務理事</p> <p>■事務局長 服部 勝 21世紀のエネルギーを考える会・みえ</p> <p>■運営幹事 井ノ口輔胖 三重県商工会議所連合会専務理事 佐々木史郎 三重県商工会連合会専務理事 伊藤 良夫 三重県中小企業団体中央会事務局長 横田 正典 三重県経営者協会専務理事 長谷川善樹 電機連合三重地方協議会事務局長 広垣 和彦 電力総連三重県電力総連執行委員</p>
--	---

編 集 後 記



事務局長 服部 勝

今号は平成22年度に実施した各事業の活動報告を中心に編集いたしました。

今年度から行いました公開シンポジウム(四日市・津)、地区別講演

会(伊賀・桑名・松阪・伊勢)には、当会会員の方々ならびに各地区商工会議所等の会員の方々など、多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

各地区ごとに特色のあるシンポジウムや講演会となり、参加いただいた皆さまもそれぞれが、環境やエネルギー問題や低炭素社会実現のために、「自分が無理なく始められること」を感じていただけたのではないのでしょうか。今後は、各地域でその思いを实践していただければと思っております。この取り組みは、来年度以降も続

けてまいりたいと思っておりますので、当会の活動を知っていただくためにも、会員外の方にもお声がけいただき、お誘い合わせてご参加願います。

平成23年度の総会は6月9日(木)の開催を予定しており、また、記念講演会も計画しております。是非、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

また、当会の活動に関する会員の皆さまのご意見等を随時受け付けております。今後の活動の参考にさせていただきますので、お気軽に事務局までお寄せ願います。

シンボルマーク

“共生”



「みえ」のインシヤル“M”と自然のイメージをモチーフに、自然環境と暮らし、エネルギーの共生を表現しています。色は海のブルーと樹木のグリーン、図形は地球であり、「三重」の海と山、美しい海岸線でもあります。ダイナミックな“M”で、未来に向けて発展していくエネルギーの躍動感を表しました。

お問い合わせ先(事務局)

〒514-0004
津市栄町3丁目248番地
きりんセカンドビル302号
TEL&FAX(059)229-3790
HP▶<http://www.e-mie21.com/>